

令和7年度「土木の日」記念行事

<主 催> 公益社団法人 土木学会四国支部
 <日 時> 令和 7年11月21日（金）15:00～16:30
 <会 場> 松山市 アイテムえひめ 小展示場
 <参加費> 無料
 <定 員> 100名
 <プログラム>



土木学会 CPD 認定プログラム

15:00 令和7年度 土木学会選奨土木遺産 認定書授賞式
 挨拶 土木学会 四国支部長 松崎 伸一
 説明 四国支部選奨土木遺産選考委員会
 委員長 重山陽一郎
 認定遺産：波節岩灯標（はぶしいわとうひょう）
 所在地：香川県丸亀市広島エンド鼻南南東1km
 竣工年：1895（明治28）年



波節岩灯標は、備讃瀬戸北航路の岩礁上に花崗岩を円錐状に積んだ灯標で、明治28年の初点灯から現役で航路の安全に貢献している貴重な土木遺産です。

15:30 四国支部三十周年記念特別講演：
 『関東大震災から学ぶ街づくり-地方も一蓮托生、首都東京の失敗』
 講演者：名古屋大学 減災連携研究センター 招聘教員
 武村 雅之 氏

16:30 閉会

■特別講演

【講演者プロフィール】

たけむら まさゆき
 武村 雅之 氏

生年 1952年 京都市生まれ
 学歴 1976 東北大学理学部地球物理学科卒業
 1981 東北大学大学院理学研究科博士課程
 修了（理学博士）
 職歴 1981 鹿島建設(株)技術研究所
 2012 名古屋大学減災連携研究センター
 寄附研究部門教授
 2018 名古屋大学減災連携研究センター
 客員教授
 2020 名古屋大学減災連携研究センター
 特任教授
 2025 名古屋大学減災連携研究センター
 招聘教員
 現在に至る

【講演の概要】

街は市民に平等に利益をもたらすものでなければならぬ。そんな街にこそ、防災の基本となるべき市民の連帯意識も生まれる。関東大震災の反省にたつてすすめられた帝都復興事業には、そのような理念があったように思われる。戦後の日本は西洋に負けない豊かさを得るために経済成長を至上命題とし、首都東京も、市民の暮らしに必要な基盤整備はそっちのけで、効率化と高速化を目指してきた。気が付けば、公平性と効率性のバランスが崩れた街になってしまった。郊外の木造密集地、地盤沈下、水辺破壊、帰宅困難者の増大、タワマン孤立の問題。これら地震時の課題のすべては、そこに起因している。街のあるべき姿について再考したい。

<申込方法>

参加希望者は、土木学会四国支部ホームページの本行事参加申込フォームに必要事項をご記入の上お申し込みください。

[参加申込フォーム](https://committees.jsce.or.jp/shikoku/node/73)

<https://committees.jsce.or.jp/shikoku/node/73>

参加申込



- ・同一のご所属から複数ご参加の場合でも、お一人ずつお申し込みが必要です。
- ・参加証はお送りしません。
- ・申込フォーム送信後、入力いただいたメールアドレスに、当日の参加票としてご記入内容を送信いたします。
- ・**参加票は印刷して当日受付に提出**してください。

<申込締切>

令和 7 年 11 月 18 日 (火)

定員に満たない場合は、当日まで受け付けいたします。



<CPDについて>

- ・本講習会は土木学会 CPD 認定プログラム(1.0 単位予定)です。
- ・CPD 受講証明を必要とされる方は、参加お申し込みをいただき受講証明書を「必要」で申込みいただいた受講者の方に、行事終了後にお渡しいたします。
- ・土木学会 CPD システム利用者様は、参加者ご自身による CPD システムへの「自己登録」をお願いいたします。建設系 CPD 協議会加盟団体の CPD システム利用者様は、各団体ルールに沿って、CPD 単位の申請をお願いいたします。
- ・土木学会以外の他団体に提出する場合の方法等は提出先団体に事前にご確認ください。土木学会では、他団体の運営する CPD 制度に関しては回答いたしかねます。

<連絡先>

公益社団法人 土木学会四国支部事務局

〒760-0066

高松市福岡町 3-11-22 建設クリエイトビル

TEL:087-851-3315

E-mail:office@jsce7.jp